**長者ヶ岳、天子ヶ岳**

**日時　平成２４年６月８日**

**場所　山梨県**

**参加　クラブ山行　７名**

**富士山の西側に位置する山々、田貫湖湖畔のルートを登る。富士宮駅までJR,新幹線を乗り継ぎ身延線で富士宮へ、ウイークデイであるためか、駅前は閑散としている。バスで田貫湖畔の終点まで乗車、客は我々一行ともう一組２名の女性登山客だけであった。天候は午後から雨模様になるとの天気予報であるが、日差しがまぶしく登山開始時点では極めて良好。気温もかなり高め。10時20分に登山開始、比較的なだらかな登山道を登る。途中富士山がやや下部に雲があるが頭のあたりはすっきりと姿を見せていた。田貫湖を前面に配した富士山の姿が素晴らしかった。長者ヶ岳の頂上は高い樹木に覆われ展望は良くない。長者ヶ岳を越えると、やや下りの山道を100m1程度下ったコルを通過し、登り切ったところが天子ヶ岳だ。標高は1330ｍ長者ヶ岳より少し低い。そこも樹木が茂り頂上からの展望は全く望めない。約50ｍ程度離れたところが富士見台でそこは富士山を眺めることが出来るのだが、生憎の天候で、朝の状態とは一変し、白一色の世界で残念ながら富士見台からの富士山は見ることが出来なかった。天候が思わしくないので、下山を急いだ。天子ヶ岳からの下山はしばらく急な山道が続く。そこを過ぎるとなだらかな山道となる。立石まで一気に下山した。予定より約1時間も早くバス停に到着。あまり待たずにバスで富士宮駅まで乗車、さて反省会の場所を探したが16時頃から開店している店がない。やっと中華店を見つけ反省会を行った。幸い雨に降られることもなく下山でき、山行後の至福の時を味わった。**